

みんなのカフェ・ロベ 2022 年度報告書

イベント

7/29 開所式

10/15 不登校・多様な学びつながつ'縁'日

10/28 ハロウィン

11/27 芋ほり

12/23 クリスマス会 レクレーション

12/26 マネー講座「お年玉」

12/28 大掃除

1/4 正月おせちメニュー おにぎり作り

2/3 節分 豆まき

2/13 バレンタイン チョコ菓子作り

3/3 ひな祭り いちご大福作り

3/13 ホワイトデー 菓子作り

3/27 図工授業「桜作り」

3/31 マネー講座「生活にかかるお金」

第三の居場所の開設、運営事業

みんなのカフェ・ロベは日本財団の助成を受け、2022年7月につくば市緑が丘に子ども第三の居場所として運営がスタート。コンセプトは孤食・孤立を避け誰一人取り残されない地域子育てコミュニティの創生。施設は屋上につながる赤い螺旋階段がシンボルで、二階建ての住居をリフォームした建物。



運営日時	月・水・金（祝日休み） 14時～20時
事業内容	カフェ 14時～ 子ども 150円 大人 300円 子ども食堂 18時～ 子ども 200円 大人 400円 学習塾 無学年教材を使い、個人のレベルに合わせ戻り学習を実施
レギュラー登録人数	19名

子供達は、与えられるだけのお客様ではなく、食事作りや、片づけ、部屋の掃除などに参加し、「生きる力」を養っている。子ども食堂はヒノキのダイニングテーブルに集まり、みんなでいただきますをして食卓を囲む。夕飯は野菜をたっぷり使った健康的なメニューを提供している。子どもが苦手な野菜であっても、調理を工夫し野菜を食べやすいようにしている。ほうれん草をペースト状にしてカレーに入れると、ほうれん草嫌いな子もおいしく食べられていた。子供達とボランティアさんも一緒に夕飯作りをしている。釣りが趣味のスタッフが釣ってきた魚を食卓に出したり、イカの下処理を子供に体験してもらったり、食育にも取り組んでいる。



季節に合わせたイベントは、夕飯をイベント特別メニューにしたり、飾りつけをして実施している。ハロウィンの時には仮装した子供達が地域住民のお宅を訪問し、お菓子を配布いただきご近所様にご協力いただいた。ひなまつりイベントではお雛様を飾ったところ、「初めて見たー」と言って感慨深げにじーっとお人形を見つめている子がいた。季節イベントを家族のように一緒に楽しむことが出来ている。

冬休みや春休み期間に講師お方を招き「お年玉講座」「生活にかかるお金」をテーマにマネー講座を開催した。光熱費や食費等、どれくらいかかるものなのか予想したり、お金を貯める時のルール等学んだ。お金について学び、使い方を考える貴重な機会となった。

春休みは美術講師を招き、図工の授業を行った。みんなで切って貼って塗って桜を作り、カフェ・ロベの壁に飾った。カフェ・ロベが桜で華やかな空間になった。



【カフェ・ロベに通う子の例】

不登校の子で家に引きこもっていた子がカフェ・ロベに来ることで外に出るきっかけとなり、友達が出来ると徐々に明るく元気になっていき、その後学校に通えるようになった。

小学六年生の不登校の子が、中学からは学校に通うと目標を立て、無学年教材でこつこつ勉強し、また自転車通学をするために、のれなかった自転車の練習をカフェ・ロベスタッフと行き、春から中学校に元気に通い始めた。

不登校の子でも、カフェ・ロベでの日々の様子を記録した報告書を学校に提出することで出席扱いになった例もあり、学校と連携しながら子供達の支援にあたっている。

【カフェ・ロベボランティアの例】

子ども食堂のレギュラー利用者やボランティアさんの中には孤食に悩む方もおり、カフェ・ロベでみんなと過ごすことが居場所となっている。

ひきこもりだった 20 代女性が食事作りボランティアに何度か参加したことで自信となり、食事を作る仕事に社会復帰を果たした。

【今後の課題】

開所してからは受け入れた子どもたちに注力していた部分があり、なかなか地域へのカフェ・ロベの存在が浸透しておらず、高齢者の方の受け入れは弱かった。今後は地域に向けてのアピールも進めていく。

【むすび】

みんなのカフェ・ロベがオープンして初年度で、1 からのスタート。備品を買いそろえるのも、ルールを作るのも、ボランティアを集めるのも、献立を考えるのも、子供達を勉強に向かわせることも、イベントを企画することもすべてが手探りであった。そんなカフ中、カフェ・ロベに通う子供達が SSW の紹介もあり続々と集まり、元気に通ってくれている。順調に運営ができたのは日本財団様をはじめ、支援にご協力くださった関係各々様やボランティアの皆様のおかげであり、大変感謝している。